

事業所職員向け

新保 令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表

全体数6 回答数6

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	学習支援の環境として適切であるか	4	2	0	○一人一人が集中出来るように騒音や照明等を考慮し、特性に合った文房具等を購入し、より良い環境で支援が出来るように児童に合わせて部屋を決めています。 ○段差の昇降の際に声をかけています。	今後は5領域の活動を視野に入れ、グループ活動や簡単な運動も出来るような場所の確保を検討しています。
	2	職員の専門性は適切であるか	4	2	0	児童指導員(小学校教諭、社会福祉士)、作業療法士、保育士等の専門性のある職員で構成し、それぞれの専門性を活かして協力しあっています。	事業所としても研修の機会を設け、今後も研鑽を続けていきます。
	3	事業所の整備等について、安全性の配慮が適切になされているか	4	2	0	○事業所の内外を点検し危険な箇所がないかを確認しています。 ○玄関の段差部分に保護テープを張っています。	○劣化した箇所については都度修復します。 ○狭いところは安全面にさらに配慮します。
業務改善	4	業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く参画しているか	5	1	0	定期的に会議を開き、問題点を話し合う場を設けています。	今後もより事業所内会議でPDCAサイクルを回して業務改善に努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	6	0	0	昨年からの保護者向けのアンケートを実施し、業務改善に努めています。	今後もお一人お一人の保護者やお子様へ寄り添った支援ができるように努めていきます。
	6	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	昨年度より掲示し、HPにて公開をしています。	今年度も掲示し、HPで公開をしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	2	現在第三者評価事業者とは契約していませんが、外部の他事業所と連携を取り情報交換と客観的評価をし合い改善を心掛けています。	第三者評価導入を検討をしています。
	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	すくすく塾内での新人研修や、研修会等、外部の講師を招いたり、外部研修会に参加したりして、職員でより良い支援を目指しています。	更に研修の質を高め、機会を増やし、外部とも連携を取りながらより精進していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	保護者の方からしっかりお話を聞き、実際の体験の様子からお子様の状況を把握し、児発管と直接指導員との連携を密にして状況を共有し、計画・実施・見直し・改善を行いながら最善の福祉の実施になるように努めています。	今後もアセスメントの精度を上げ、より効果的に支援が出来るように努めていきます。

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	0	家庭から提供していただいている発達検査(田中ビネーやWISK等)を活用していただいています。	より効果的な支援を実施するために、アセスメントツールについて職員共々さらに勉強していきます。
	11	支援の予定は特性や状況に応じて立案しているか	6	0	0	個別支援計画に基づき、お子さまの状況を良く理解した担当指導員が立案しています。	
	12	支援の予定は子供の状況に合わせて工夫しているか	6	0	0	個別対応の為、特性や発達に合わせてることは基より、分かりやすく、興味や達成感が感じられるような教材を研究し準備しています。	今後はより5領域を取り入れ、個別対応に加えてお子様の状況により小集団との組み合わせで支援の幅を広げ、より工夫をして対応してしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて課題を細やかに設定して支援しているか	6	0	0	お子さまのニーズに合わせて 休みに加えて学校行事なども考慮し対応しています。	5領域を取り入れるにあたり、今後は長期休暇はイベント等も取り入れ楽しく社会性を身に付けられるように企画していきます。
	14	支援開始前には準備を完了し、支援内容や担当者を確認しているか	6	0	0	個別支援計画に基づいて、その時のお子さまの気持ちや発達状態に寄り添えるように、数パターンの支援内容や準備物を用意し、朝のミーティングで確認しています。	
	15	支援終了後には職員間で情報共有し、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	職員全体でミーティングして情報共有し、問題点があればそれを話し合い、良かった点や、お子さまの特性なども共有して、職員のチームワークを強化し、より良い支援を心掛けています。	
	16	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	6	0	0	支援の記録は支援後に速やかに詳細に記入し、翌日にケース会議をする際に生かしており、モニタリングの際にも長期的な成長や変化を読み取れるように活用しています。	
	17	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	定期的にモニタリングを実施しており、子どもの成長・変化の対応に努めています。	
	18	ガイドラインの総則の基本行動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	1	0	お子様のお悩みや特性に応じて、ガイドラインを参照して支援しています。	6年度よりガイドラインの変更に伴って、5領域をより具体的に取り入れた複合的な支援を行っていきます。
	19	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も小さい者が参画しているか	6	0	0	児発管と担当指導員が参加しています。	
20	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	0	現状対象者がいない為、実施していません。	該当者がいる際には相互理解連携に努めていきます。	

保護者への説明責任等	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を共有するなどしているか	3	3	0	現状対象者がいない為、実施していません。	該当者がいる場合は、情報共有し速やかに適応できるように支援していきます。
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	現状対象の方がいない為、連携はしていませんが、「ひかりリンク」等の研修会には参加しています。	該当者がいる場合は、情報共有し速やかに適応できるように支援していきます。
	23	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	5	現状児童館が近くになく、適当な施設がない為、未実施です。	外部の行事等に参加したりすることで、地域との交流の機会を設けていきます。
	24	(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか	1	2	3	開催と参加条件を整えるようにして 児発管か指導員が参加しています。	今後も指導員も出来るだけ参加していきます。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	毎回の支援後のフィードバックの際や、タイムリーなラインでのやり取りも加えて、保護者の方とお子様の状況について連絡を取り合っています。	今後も一層の共通理解に努めていきます。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	0	お子さまによっては、指導員がその支援の中でお子さまの様子の良い点を手紙を書き、支援の終わりにお子さまの目の前で保護者の方に読んで頂き、その場でしっかり褒めて頂くという取り組みを通じて、親子の良い関係が深まっていくよう支援を行っています。	ご要望があればペアレントトレーニングの観点から相談支援等を行っていきます。
	27	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	契約時に児発管より保護者の方に丁寧に説明するように心がけています。また内容に変更があった場合は速やかにお伝えをしています。	要望や意見があった際には、できるだけ速やかに対処していきます。
	28	支援の予定は子どもの状況に合わせて工夫しているか	6	0	0	お子様のお悩みや特性に応じて、アセスメントをよりの確にし、オリジナルの教材を作ったり、ゲームの要素を取り入れたりして、無理なく、より楽しく、お子様が出来る喜びを感じながら取り組んでいけるようにと考えています。	
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	5	1	0	保護者の方からお尋ねやご相談があった場合には、児発管や担当指導員が対応し、事業所全体で連携をし解決に向かうように取り組んでいます。	今後も速やかに真摯に対応していきます。
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	2	全体での開催はできていませんが、ニーズの近い家庭間をつなげて情報交換する場を設定しています。	保護者の会として開催できていないので、今後は保護者のニーズを伺いながら保護者の会を進めていきます。

保護者への説明責任等

非常時等の対応	31	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	フィードバックの中で、お子様の状況を保護者の方と共有し、課題があると思われた場合は児発管も加わり一緒に話し合っています。	今後も要望や意見があった際には、できるだけ速やかに対処していきます。
	32	インスタグラム等で事業所の様子や支援の様子を保護者に向けて発信しているか	2	2	2	現在は支援の様子については個別に写真も交えて直接保護者の方にお伝えしています。	インスタを希望されない保護者の方もいらっしゃる為、情報発信の方法について検討しています。
	33	個人情報の取り扱いに十分配慮しているか	6	0	0	鍵の付いた個人情報ファイルの書庫に保管し、施錠しています。また、事務所内にはお子さまは入らないように指導し、出入りは職員のみをしています。	個人情報の取り扱いには一層慎重に管理していきます。
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	お子さまや、保護者の方とのコミュニケーションが取れるように配慮しています。	
	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	0	緊急時(洪水、地震、火災、不審者等)の対応マニュアルを策定し、保護者の方へ周知しています。支援時にも災害時の行動、安全対策について防災学習を行っています。今年度は安全計画、業務継続計画を策定しました。	さらに自然災害や・人為災害への対応強化に努めていきます。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な指導を行っているか	6	0	0	施設外に出る避難については制約があるため、施設内において、災害時においてどのような行動が最小限の被害になるかを、支援の中で計画的に進めています。	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業内で共有しているか	5	1	0	すくすく塾の他の事業所のヒヤリハットの事例を共有しています。また安全計画委員会、業務継続委員会等の委員会を設置しました。	安全計画、業務継続計画を計画的に見直し、点検、対策を強化し、より安全、安心に支援できるよう努めます。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	虐待防止委員会を設置し、年に2回研修をしています。	
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、重要事項説明書に明記し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得ているか	6	0	0	契約時に重要事項説明書の中で、児発管より保護者の方に丁寧に説明するように心がけて、その対応の仕方に了承を頂いています。	今後も身体拘束に至ることのないように、日ごろからお子さまに寄り添って心の通う支援を心掛けていきます。